

平成 28 年 3 月 23 日

平成 27 年度東洋学研究情報センター機関推進プロジェクト実施報告書

1. プロジェクト名：ラジャブザーデ文書コレクションの研究

2. 申請研究者

森本一夫 東洋文化研究所・准教授

※申請研究者以外に、主要な研究協力者がいる場合はご記載ください。

ラジャブザーデ ハーシエム

江浦 公治

3. 研究期間平成 27 年 7 月 23 日から～平成 30 年 3 月 31 日（3 年間）

4. プロジェクトの趣旨、全体計画

ラジャブザーデ文書コレクションとは、旧大阪外国語大学ペルシア語学科で長く教鞭を執られ、イラン史、日本・イラン関係史などの分野で顕著な業績を残してこられたハーシエム・ラジャブザーデ博士の私蔵にかかるイランの文書コレクションである。おおむね 19 世紀前半以降の数百点の原文書を含む極めて貴重なコレクションである。ラジャブザーデ博士は当コレクションの東洋文化研究所への寄贈を申し出ておられ、将来的には東洋文化研究所に所蔵されることになる。

当プロジェクトは、ラジャブザーデ文書コレクションに含まれる文書群を主題にもとづいて整理し、特に重要な文書に関しては、さらに翻刻・研究および写真版の刊行を行うものである。ラジャブザーデ博士、これまでもラジャブザーデ博士とともに研究を進めてこられた江浦公治氏、および東洋文化研究所の森本一夫が中心となって推進する。主題別に毎年 1 冊の研究成果の公刊を期す。

5. 今年度の研究実施状況

平成 27 年度は、宗教生活、およびそれと深く関係する宗教法廷に関係する文書の整理・研究を中心的な課題とし、電子メールなどで連絡をとりながら研究を進めた。民衆の信仰実践に関わる文書、宗教者が担っていた民間法廷などに関係する文書などを整理し、読解を進め、特に重要な文書を選別した上で、その翻刻作業と写真版の作成を行った。扱った文書の主題は、宗教税、礼拝と断食、巡礼と（代理）参詣、財産権上の和解事案、寄進財、遺言（以上、宗教生活に関わる文書）、土地所有権をめぐる係争、土地の不法占拠をめぐる係争、金銭貸借をめぐる係争、代理権の設定、証言に関わる諸事案、誓言による係争事案の終結、禁治産の宣告、殺人・傷害の賠償金に関する事案（以上、宗教法廷に関わる文書）など、多岐にわたった。

## 6. 今年度の研究成果の概要

平成 27 年度の研究成果として、ハーシェム・ラジャブザーデ（著）；江浦公治（協力）；森本一夫（序文）『カージャール朝期のイランの宗教・司法関連文書』（ペルシア語文書集成, 3）を完成させることができた。本書は、125 件の文書の写真版とその翻刻を、それらが扱う案件にしたがって分類しつつ呈示した書物である。本書が刊行されれば、ラジャブザーデ文書コレクション中の宗教生活・宗教法廷に関する文書群へのアクセスは格段に容易となり、19 世紀を中心とする時期のイランの地域社会史、宗教生活史などに関心をもつ国内外の方々に裨益するところ大となろう。なお、当プロジェクトとしては東洋学研究情報センター叢刊の一冊として本書が刊行されることを希望しており、来年度の刊行募集に応募する予定である。